

短歌

源 桃子

食べ頃を今日と決められ枇杷の実の収穫終わる鴨ひよの来たりて

母二人の忌日近づき赤青に庭を彩り紫陽花の咲く

畑中に鳥の贈りくれしか桃の木よ実の生る日まで生きたしと思う

四川省に種子を拾いしアングスの乙女は黄色の花をつけ初む

幼女期の祖父母の庭よ再びとのこぎり草をふやす梅雨晴れ

カマキリもミミズも今はいとおしき観察したり土をかけたたり

ほうたるの庭を狭しと数分のショーを遂げては何処かに消ゆ